

## 道路特定財源の確保に関する意見書

道路は、社会資本生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基礎的な利便、安心・安全な施設であり、地域の活性化にとって必要不可欠である。

現在、地方においては、高速道路など主要な幹線道路のネットワーク形成をはじめ、防災対策、通学路の整備や救急医療など住民生活に欠かすことのできない道路整備を鋭意行っている。

また、橋梁やトンネルなどの道路施設の老朽化が進んでおり、その維持管理も行わなければならない、その費用も年々増大している。

こうしたなか、現行の道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、地方においては約9千億円の税収等の減が生じ、更に地方道路整備臨時交付金制度も廃止された場合には、1兆6千億円規模の大幅な減収が生じ、地方の道路財源が深刻な事態に陥るばかりか、危機的状況にある地方財政運営に深刻な影響を及ぼしかねないことにもなる。

よって、国においては、現行の道路特定財源の暫定税率及び地方道路整備臨時交付金制度を堅持し、関係法案を年度内に成立させるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年3月6日  
和歌山県日高郡日高川町議会

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済財政政策担当大臣、国土交通大臣、行政改革担当大臣

二階総務会長に要望



1月28日、議員全員と町長、収入役、建設課長、議会事務局2名の21名で要望活動を行った。

二階自民党総務会長に自民党本部総務会長室で湯浅御坊間4車線化と川辺ICのフルインター化、国道424号美山地

湯浅御坊間4車線化と川辺ICのフルインター化、国道424号整備促進についての要望活動

谷口技監に要望



国土交通省では、谷口技監、富田道路局長から関係する審議官から課長、調整官に要望書を届け実情を訴えた。

内の整備促進について要望を行った。その後、県選出の衆参両議員へ要望書を携え手分けして要望活動を行った。

グラウンドワーク三島の  
源兵衛川再生事業視察

1月29日、静岡県三島市の源兵衛川の再生事業を視察した。NPOグラウンドワーク三島の山口、菅野氏による現地案内と説明を受けた。

源兵衛川の源は市内に湧き出る富士山湧水で、川の延長は10km程度の短い川であるが、「どぶ



グラウンドワーク三島の視察

川」化していたが20の市民団体や、企業、行政が協働し再生に取り組み、市内の川から姿を消していた水中花ミシマバヤカモを復元させ育つ川に再生している。

当日あいにくの雨で、傘をさしての現地視察となり、本来の景観を觀賞することができなかつた。

自治功労者（町村議員として15年以上在職者）として山本喜平議員に表彰状を伝達。



日高川町議会が住民に見える議会、議会本来の役割を積極的に果たしている議会として町村議会表彰を受ける。



町村議会表彰推薦理由

議会運営については、3つの常任委員会（総務・文教厚生・産業建設）、議会広報特別委員会と議会運営委員会を持ち、住民の声を最大限に反映できるよう努めている。

定例会毎に、議決された議案の内容や、一般質問の質疑概要等を載せた「ひだか川議会だより」を4200部発行している。

平成18年12月議会から、CATVのコミュニティチャンネルで、毎定例会8から9件ある一般質問を無修正で、一日に2時間分を2回、4日間録画放送を行っており、開かれた議会活動を実践している。

で、毎定例会8から9件ある一般質問を無修正で、一日に2時間分を2回、4日間録画放送を行っており、開かれた議会活動を実践している。

東西南北

日高川町発足、3周年の春を迎えました。

4月は寒さが遠ざかるのを感じながら、桜花爛漫。真新しい制服で登下校する児童・生徒の姿。元気で勉強に励んでほしいものです。

風薫る五月の空に泳ぐ鯉職を見つけると、この地域に子どもがいると判り、うれしくなります。

みやまの里ではふじまつりが開催されています。

青葉若葉の色が濃くなるのを横目に、田仕事、畑仕事に追立てられます。

間もなく、奥日高から早苗田が下ってきます。

強まる日射しと恵みの雨に育てられ、秋の実りを願い、日々の天気予報をチェックしながら、誰もが忙しく働く季節が来ました。